

緑道 花々で彩ろう

高畠・加藤さんら作業 広がる活動の輪

高畠町のサイクリングロード「まほろばの緑道」を



まほろばの緑道に花を植え続けている加藤佳代子さん（右から2人目）。活動の輪が広がり始めている
―高畠町高畠（高校生ボランティアサークル「地球」提供）

花々で彩る活動が広がりを
見せている。仕掛け人は、

同町高畠のパート従業員加藤佳代子さん(39)。昨年からは緑道沿いに花を植え始め、22日には高校生ボランティアなども加わって作業に汗を流した。

花が植えられているのは、屋代川に架かる「まほろば大橋」の西側。散歩でよく通る加藤さんは、枯れ木が放置されて草が生い茂る状況に「景観がよいのもつたいない。ここを花いっぱいにできたら」と思い立ち、管理する町の許可を得て昨夏から整備を始めた。

幅1メートル、長さ60メートルの花壇は緑道の両脇にあり、チョウも集う場所にしようと、「バタフライガーデン」と名付けた。サンジャクパー

ベナや紫キャベツといったチョウが好む植物を選び、種から苗を育てている。水やりや草取りを毎朝行う加藤さんの一生懸命な姿に、賛同する人も増えてきた。

22日は、同町の高校生ボランティアサークル「地球」に所属する9人と町地域おこし協力隊の岩田朋樹さんも協力。ヤグルマギク

など650株を植えた。高畠2年の猪飼夏海さん(16)は「これから成長して花が咲くのが楽しみ」。加藤さんは「訪れた人が癒やされるような町の新しい名所にしていきたい」と意気込み、「人もチョウも集える場所になるよう、もっとたくさん地域の人と一緒に活動したい」と笑顔で話した。(坂元かおり)